

みずほCustomer Desk Report 2016/12/19 号(As of 2016/12/16)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	118.14 AUD/USD
TKY 9:00AM	118.26	1.0417	123.22	1.0299	1.2418	0.7366
SYD-NY High	118.43	1.0474	123.63	1.0311	1.2510	0.7370
SYD-NY Low	117.46	1.0400	122.85	1.0243	1.2383	0.7267
NY 5:00 PM	117.90	1.0455	123.29	1.0265	1.2485	0.7305
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.695/12.47		△25RR	0.905	Yen Call Over	

NY DOW	19,843.41	▲ 8.83	債券市場	日本2年債	-0.1750	1.5bp
NASDAQ	5,437.16	▲ 19.69		日本10年債	0.0810	▲0.9bp
S&P	2,258.07	▲ 3.96		米国2年債	1.2524	▲2.1bp
日経平均	19,401.15	127.36		米国5年債	2.0654	▲2.3bp
TOPIX	1,550.67	7.95		米国10年債	2.5916	▲0.5bp
シカゴ日経先物	19,365	▲135.00	為替市況	独10年債	0.3140	▲5.1bp
ロンドンFT	7,011.64	12.63		英10年債	1.4380	▲5.0bp
DAX	11,404.01	37.61		豪10年債	2.8310	▲3.8bp
ハンセン指数	22,020.75	▲ 38.65		USD/CNH	6.9672	0.0341
上海総合	3,122.98	5.30		ドルインデックス	102.95	▲0.07
USDJPY 3M Vol	12.77	▲0.13%	商品市況	CRB指数	191.429	0.95
USDJPY 6M Vol	12.65	▲0.06%		NY金	1,137.40	7.60
EURJPY 3M Vol	12.11	0.04%		WTI	51.90	1.00
EURJPY 6M Vol	13.69	0.12%		Dubai Spot	50.73	▲0.30

東京	東京時間のドル円は118.26レベルでオープン。日経平均株価が高寄りしたことドル円は東京時間高値118.38まで上昇。その後、日経平均株価が上げ幅を縮小させたことや、2.6%近辺で推移していた米10年債利回りが2.57%台まで低下したことドル円は弱含みに推移。東京時間安値となる117.96をつけた。ただ、相場の方角感を固めるような材料はない中、大きな値幅とはならず、118円前半を中心とした値動きに終始。午後にはプーチン露大統領が「15日に安倍首相と平和条約締結の可能性などめぐり協議した」と発言したことが報じられたものの、相場への影響は限定的。ドル円は118円台前半でのレンジ推移となり、118.02レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は118.02レベルでオープン。一旦は118.43の高値をつけたものの、一段の上値追いはならず118円台前半で揉みあう展開。年末を控えて債券需要の高まりから独2年金利が過去最低水準を更新する等、金利が低下する中ドル買い地合いが一段と強まることにはならなかった。結局ドル円は118.20レベルで海外に渡った。ポンドドルは1.2430レベルでオープン。その後、目立った材料無い中1.2455レベルで海外に渡った。ユーロ円は123.31レベルでオープン後、ほぼ横ばい動きとなり123.37レベルで海外に渡った。
ニューヨーク	ドル円は、118.20レベルでNYオープン。朝方発表された米11月住宅着工件数は、前月の急増の反動で予想を大きく下回り、ドル円も118.07まで下落する。その後は118円台前半での取引が暫く続くが、ロンドンフィックスに掛けてドル買いが強まった局面で118.40まで上昇する。その後は「中国が南シナ海で米輸送船を捕まえた」とのヘッドラインが、週末を控えたドルロングポジションの調整材料となったほか、米金利が低下したこと、ドル円はストップを巻き込みながら117.47まで下落。その後中国が捕らえたのは輸送船ではなく、米海軍の無人の潜水艇であったことが明らかになり117.81まで戻すが、株式市場が軟化する動きもあり117.46まで再び反落した。午後に入るとドル円はじり高で推移し、結局117.90レベルでクロスした。一方、海外市場で1.0406まで下落したユーロドルは、その後は買戻しが優勢となり、一時1.0472まで戻し、1.0436でNYオープン。朝方は、方向感の無い取引が続くが、ロンドンフィックスに掛けてドル買いが優勢となったことから1.0400まで下落する。その後は前述の米海軍に関するヘッドラインを受けてドル売りが持ち込まれユーロドルは1.0474まで上昇。午後は調整から再びドル買いが強まり、ユーロドルは徐々に上値を切り下げ、1.0455レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 西谷・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月16日	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)	11月 -0.1%/0.6%	-0.1%/0.6%
	22:30	米 住宅着工件数	11月 1,090K	1,230k
	22:30	米 建設許可件数	12月 1,201K	1,240k

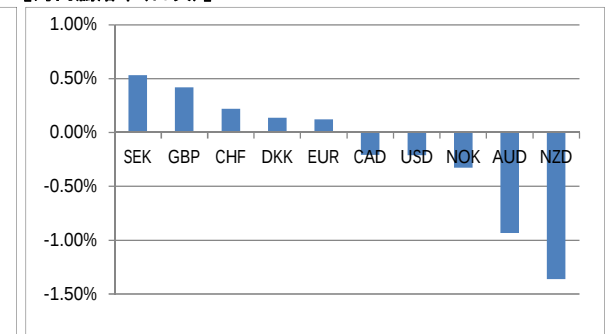
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月19日	8:50	日 貿易収支(調整前/調整後)	11月 ¥227.4B/¥590.5B	¥496.0B/¥474.3B
	18:00	独 IFO企業景況感指数(総合/現況/期待)	12月 110.6/115.9/105.6	110.4/115.6/105.5
	23:45	米 マークイットPMI・速報(サービス業/総合)	12月 55.2/-	54.6/54.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	117.40-118.70	1.0350-1.0480	122.50-123.80

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は総じて底堅い展開となった。北米時間に「中国海軍が南シナ海で米潜水ドローンを接收」とのヘッドラインが伝わると、米中の関係悪化が懸念され、地政学リスクの高まりを背景にドル円は一時117円台半ばまで下落。しかしその後、米金利が反発したことを受けて、ドル円も118円近辺まで戻して引けた。本日は底堅い値動きを予想する。足許のドル堅調地合を変えるような材料は見出しにくく、落ちたところでの買い意欲が旺盛であることを勘案すれば、まだまだ上方向を見ている市場参加者が多いことを窺わせる。本日は特段目立った材料に乏しく、クリスマス休暇に向けて徐々に市場参加者が減っていくことが想定される中、値幅は小さくなる可能性はあるものの、引き続き底堅い展開を念頭に臨みたい。